

【Yinkin】

黄色い目をしたアリンクス、狩人なるインキンは、
オーランスの兄弟で、幾多の情人持ち給い、
霊蛇の敵にて、雲の父となり給う、
静かでしなやか付け狙う者愛しき者。

説明



解説

■ 神殿

嵐の神殿。神。

■ 称号、職能

アリンクスの祖神。狩猟と快樂主義の神。

■ 概略

“山の母”ケロ・フィンと“偉大な獣の精霊”フララーの間に生まれたアリンクス（かすみ猫）の神。オーランスの忠実な兄弟であり、野生の優れた狩人であり、美しい快樂主義者でもある。

父フララーの要求を拒んでオーランスについたため、彼は精霊ではなく神となった。美しい彼は様々な女神たちに愛され、彼女らとの間に多くの子をもうけている。彼が自分の子供たちに人間を助けるように命じたため、現在でもアリンクスはオーランス人の良き友である。

ヒョルト人の中ではその姿は様々な手法で描かれ、ある氏族は氏族が信仰しているアリンクスの種で描き、またあるものはアリンクスの特徴を浮かべた容貌の人間として描く。アリンクスの頭をした人間と描かれるのは稀である。そのいずれにせよ、アリンクスの長い尻尾を持ってい

る。

■ 異界

嵐の領域の風の森がその巣穴である。が、インキンはオーランスのステッドの炉のそばに良く陣取っている。

組織

信者は組織的な寺院を持たないが、聖日には森や山に隠された社に集って儀式を行う。冒険者オーランスの寺院にインキンの社が併置されていることも多い。

■ 聖日

犬薄荷の日（海の季、安定の週、荒の日）

インキンがユールマルによって高温の体熱を奪われたことを祝福する日。信者はトリックスターに一服盛られて眠らされた後、氏族の皆に水をぶっかけられる。犬薄荷(イヌハッカ)は西洋マタタビとも言う。

眠り猫の日（火の季、調和の週、火の日）

「怠惰な猫の日」とも言われ、一年で最も長い日。

求愛の日（地の季、調和の週、荒の日）

インキンが様々な女神を誘惑した日で、信者も他のカルトの異性を誘惑する日。

仔猫の日（闇の季、混乱の週、凍の日）

闇の季の最初の日。インキンが人間のもとにやって来たことを再現する日。信者は求愛の日につがった異性に一腹の子猫を贈る。

大狩猟（嵐の季、調和の週、神の日～嵐の季、死の週、神の日）

狩猟の神々がその技を競う狩猟の祭り。最良の獲物を族長に捧げる。

猫灯りの日（聖祝季、運命の週、水の日）

インキンが光持ち帰りし者たちの探索を行っていたオーランスを助けたことを祝福する日。信者は数日前から断食してインキンの飢えを体験する。

帰還の日（聖祝期、運命の週、風の日）

オーランスが光持ち帰りし物たちの探索から帰還した日。信者は帰ってきた族長を一番に迎える。

■ 大聖日

インキンの日（恋人の日）（聖祝期、運命の週、水の日）

世界の恋人インキンの誕生を祝う日。氏族はアリンクスにインキンへの供犠を捧げ、信者は狩猟の獲物で占いをする。

■ 下位カルト

- ・“追い駆け屋” ヘヴレン
- ・“狩人” ガヴレン
- ・トール、雲のインキン
- ・“鼠獲り” ムルニ
- ・“密偵” アルサー

■ 好まれる神友

アリンクス

業績

- ・(その神のなした業績を一行で書き表そう。その業績は単独で記事にしよう)
- ・(その神のなした業績を一行で書き表そう。その業績は単独で記事にしよう)

近親

■両親

父親はフララー。

母親はケロ・フィン。

■兄弟姉妹

同母兄弟姉妹にクイヴィン、“白き姫”イノーラ、“野の姫”ヴェルハラ、オーランスがいる。

■子

闇の中の目との間に“密偵”アルサーをなす。

“野の姫”ヴェルハラとの間に“狩人”ガヴレンをなす。

マホーメイとの間に“追い駆け屋”ヘヴレンをなす。

ターヘレラとの間に猫雲をなす。

“鼠獲り”ムルニをなす。

別名

トール、雲のインキン

神知者分類法

(ルーンクエスト時代の所持ルーンを書こう)

参考文献

- ・『Thunder Rebels』 p.-
- ・『Storm Tribe』 p.181-190